文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	北海道・上ノ国町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	上ノ国町文化遺産活用プラン	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第5次上ノ国町総合計画（平成22年策定）を踏まえ、地域文化の保存・伝承・活用を推進し、保存団体の育成・支援、後継者の確保を図り、保存・伝承・普及に努め、地域の活性化を推進するため、次の取組を実施する。また、文化遺産を保存・継承し活用していくための体制の確立を目指す。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 教育委員会事務局文化財グループ：各補助事業における文化財の取り扱い等に関する指導・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 上ノ国町大山神社山車保存継承実行委員会 構成団体（大留町内会、上ノ国町商工会、大山神社、大山神社奉賛会、上ノ国町）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 6,912 千円	平成30年度申請額： 8,779 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>町民の文化遺産に対する関心や意識が向上することにより、これまで地域の住民が主体となって保存・継承してきた文化遺産の次世代への継承と地域活性化が期待できる。また、行政と民間団体等による連携・協力体制が構築されるとともに、これまで以上に文化遺産の保存と次世代への確実な継承が期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>平成28年度から上ノ国町歴史文化基本構想策定委員会を組織し、調査部会による悉皆調査等を行い、平成29年度に歴史文化基本構想を策定することができた。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	教育委員会文化財グループ		

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	上ノ国町大山神社例大祭の保存伝承と地域活性化事業	実施団体:	上ノ国町大山神社山車保存継承実行委員会		
事業区分:	記録作成	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度		
事業概要:	大山神社例祭の様子や文化遺産である山車の構造及び修理の状況について、伝承のために必要となる記録を作成し、各学校、図書館等へ配布するとともに、地域住民への報告会での周知や町内各学校のふるさと学習の教材として活用しながら祭礼文化継承のすそのの拡大を図る。				
評価指標区分:	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標:	小中高によるふるさと学習利用回数				
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 0 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 5 (単位)				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
(単位)	(単位)	(単位)	1 (単位)	(単位)	(単位)
			20%		
事業②:	地域の文化遺産継承事業	実施団体:	上ノ国町大山神社山車保存継承実行委員会		
事業区分:	用具等整備	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度		
事業概要:	大山神社例祭において巡行している山車については、明治時代から使用しており、経年劣化が著しく、安全曳行を保ちながら使用することは難しい状況となっているため、地域の伝統文化を伝える文化財であることから復元改修し、保存継承するものである。				
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標:	上ノ国町大山神社秋季例大祭における参加住民数				
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 200 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 300 (単位)				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
(単位)	(単位)	(単位)	230 (単位)	(単位)	(単位)
			30%		